



## 短期専門家との活動を終えて…

前号でお伝えしたとおり、2013年6月から9月にかけて合計5名の短期専門家にプロジェクトをご支援いただきました。今号は、短期専門家と業務を行ったプロジェクトスタッフのうち各水道公社数名にインタビューを行い、活動を振り返ってもらいました。プロジェクトスタッフへの質問は以下のとおりです。

- Q1: 一緒に活動した短期専門家の名前は？
- Q2: 短期専門家と活動をして一番何を学びましたか？
- Q3: 短期専門家との活動の中で何が難しかったですか？
- Q4: 短期専門家帰国後のあなたの活動は何ですか？
- Q5: 短期専門家と活動する機会が再びあれば、更に何を学びたいですか？
- Q6: 短期専門家へひとこと



### 首都ビエンチャン水道公社: Mr. Siphanh

Mr. Siphanhはチナイモ研修センターの副センター長。プロジェクトでは首都ビエンチャン水道公社の人材育成を担当しています。

Q1: 永堀義秀専門家、竹田明弘専門家、三澤庄吾専門家

Q2: 7月16日、8月13日の2日間だけでしたが、専門家がチナイモ研修センターの私の事務所まで訪れOJTをしていただきました。まずは組織・人事の現状を知るための …(続きは 5ページ)

### カムアン県水道公社: Mr. Khampasith

Mr. Khampasithはカムアン県水道公社の技術部門の責任者。プロジェクトでは同水道公社の副プロジェクトマネージャーを務めています。Khanngoun局長とともに強いリーダーシップを発揮し、カムアン県水道公社の原動力になっています。

Q1: 園田圭佑専門家、永堀義秀専門家、竹田明弘専門家

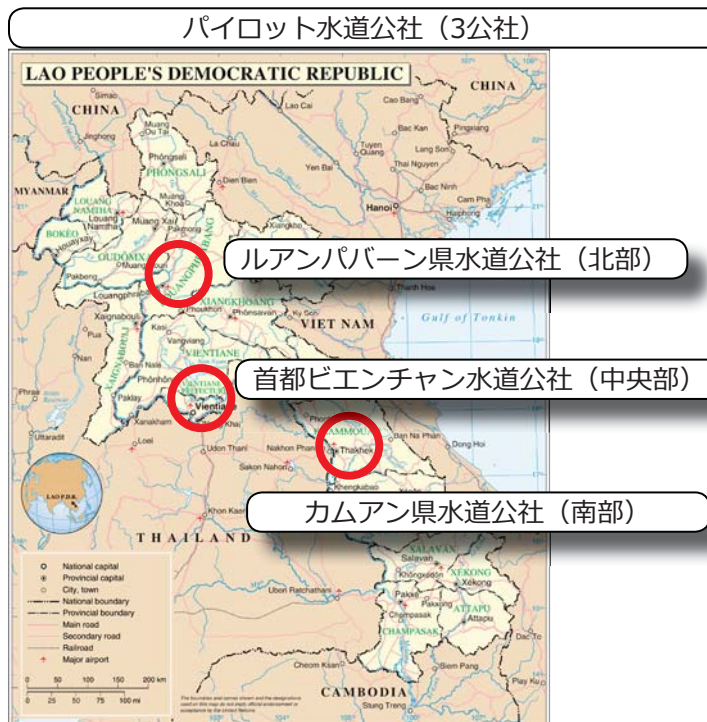
Q2: タケーク郡(県都)の配水管網を含む水道施設のデータ収集方法を学ぶ…(続きは 5ページ)



## ラオス水道公社事業管理能力向上プロジェクト

ラオス国では1999年に出された首相令により、2020年までに都市人口の8割に対して24時間の安全で安定的な都市給水を行うことを目標としています。JICAをはじめ各ドナー機関はこれまでに様々な支援を行っていますが、2010年の都市における水道普及率は55%にとどまっています。国が掲げる目標値を達成するためには、水道施設のさらなる拡張・更新、そのための事業運営の効率化を通じた投資資金の確保が必要です。事業運営効率化に向けては、これまでに短期的な計画策定とモニタリングの枠組みが設定されています。しかし、自力では短期計画の策定や更新ができない水道公社が多く実効性に乏しい枠組みとなっています。また、水道施設拡張・更新に必要な、中長期的な水需要予測や財政収支見通しに基づく事業計画の策定とモニタリングは管轄省庁である公共事業運輸省による制度化すらされておらず、現にほとんどの水道公社は中長期事業計画を有していません。

そのため、本プロジェクトでは、公共事業運輸省を主なカウンターパートとし、首都ビエンチャン、ルアンパバーン県、カムアン県の水道公社をパイロット水道公社に選定し、①事業計画策定に必要なデータ管理強化、②短期・中期・長期事業計画策定/実施能力強化、③事業計画モニタリング強化、④水道事業計画技術ガイドライン整備、⑤事業計画策定の全国普及へのメカニズム構築を行い、事業管理能力強化の仕組み整備を行っています。



- Q1: 一緒に活動した短期専門家の名前は？  
 Q2: 短期専門家と活動をして一番何を学びましたか？  
 Q3: 短期専門家との活動の中で何が難しかったですか？  
 Q4: 短期専門家帰国後のあなたの活動は何ですか？  
 Q5: 短期専門家と活動する機会が再びあれば、更に何を学びたいですか？  
 Q6: 短期専門家へひとこと

## ルアンパバーン県水道公社:Mr. Ladda

Mr. Laddaはルアンパバーン県水道公社の技術部門責任者。プロジェクトではルアンパバーン県水道公社のモニタリングを担当するとともに実務の窓口となる中心人物です。

Q1: 山口耕平専門家

Q2: 山口専門家は技術力がとても高いプロフェッショナルです。私は山口専門家から多くのことを学びました。数例を紹介すると、①データ収集改善方法、②ルアンパバーン県12郡の給水区域と給水区域人口の決定方法、③水圧と水質測定箇所の決定と地図上でのマーキング方法、④漏水(修繕)箇所の地図上でのマーキング方法、⑤計画給水区域内の水需要予測に係るデータ入力と分析方法、⑥PI(業務指標)の計算方法などです。

Q3: 難しかった点は、専門家との詳細な活動計画がなかったことと、自分自身が多忙で専門家との時間を十分に持てなかったことです。また、他のスタッフは英語の問題や業務レベルに問題があったようです。

Q4: 既存データの改善、データ収集ができていないデータの収集方法策定、ルアンパバーン市以外の郡の水需要予測、設定した計画給水区域の監督行政(県公共事業運輸局)からの承認、浄水場などのアセットマネジメントに係るデータの収集が今後の活動です。

Q5: 配水管網分析、浄水システムの設計、DMAの設定方法、長期・中期事業計画の策定方法と実施評価について学びたいです。

Q6: 山口専門家は知識・経験が豊かで多くのことを学びました。しかし、時間の制限があったため全ての活動ができた訳ではありません。そのためもし可能であれば、次回もルアンパバーン県水道公社の問題をよく知っている山口専門家に3ヶ月以上お越しいただきOJTを行ってもらいたいと思います。



地図上に虫ピン(まち針)でマーキングされた漏水(修繕)箇所

## 水道規制室(WASRO):Mr. Sompong

Mr. Sompongは水道規制室(WASRO)の技術部門担当の副室長。プロジェクトでは室長のMr. SomvanとともにWASROチームをまとめ、最もプロジェクト活動に積極的なC/P機関に導くリーダーシップの強い人物です。

Q1: 三澤庄吾専門家

Q2: 現在WASROがモニタリングを試みている9つの主要業務指標(KPI: Key Performance Indicator)の計算方法に加え、意義、考え方、重要性、データ収集について学ぶことができました。

Q3: 短期専門家は技術移転に焦点を当て、分かりやすく説明してくれたので、難しかった点はありません。また、長期専門家も支援してくれたので理解が深まりました。

Q4: KPIの紹介を含む水道事業ガイドラインの作成です。

Q5: 現在KPIは9つを設定していますが、指標を増やすべきなのかどうか、また増やすのであればどれくらいの数が適切なのかを知りたいです。更には、水道公社が効果的に事業を行うためにすべき課題についても知りたいと思います。

Q6: 三澤専門家は水道事業のプロフェッショナルです。人柄もよく、私は多くのことを彼から学ぶことができました。また、三澤専門家も我々が抱えている問題を認識してくれました。KPIのモニタリングをはじめWASROの仕事は水道公社にとってとても重要です。そのため、短期専門家の方々には少なくとも3ヶ月間、集中してWASROへの技術移転を行ってほしいと思います。



水道事業ガイドライン作成のための  
週会議(勉強会)の様子

\*\*\* 皆様のご意見・ご感想をお待ちしております \*\*\*

ラオス水道公社事業管理能力向上プロジェクト事務所

Eメール/電話: jicapimawasa@gmail.com / (+856-21) 260493

プロジェクトホームページ: <http://www.jica.go.jp/project/laos/012/index.html>

- Q1: 一緒に活動した短期専門家の名前は？
- Q2: 短期専門家と活動をして一番何を学びましたか？
- Q3: 短期専門家との活動の中で何が難しかったですか？
- Q4: 短期専門家帰国後のあなたの活動は何ですか？
- Q5: 短期専門家と活動する機会が再びあれば、更に何を学びたいですか？
- Q6: 短期専門家へひとこと



## カムアン県水道公社: Mr. Amphaivane

Mr. Amphaivaneはカムアン県水道公社の配給水管担当職員。駐在した短期専門家の専門分野と同じこともあり、短期専門家と一番時間を共有した職員。何事にも積極的で最も多く技術を学んだ職員の一人です。

- Q1: 園田圭佑専門家
- Q2: 配給水管ネットワークのデータ収集方法と施設管理について学びました。
- Q3: 英語が困難なためコミュニケーションが難しかったです。
- Q4: 配給水管ネットワークの敷設月日を含む未収集データの整理です。
- Q5: コミュニケーションのために英語をもっと勉強するの必要を感じています。
- Q6: 8週間という短い間でしたが、収集したデータのデータベースへの保存方法、データ収集計画策定方法などを技術移転してくれた園田圭佑専門家と活動できたことを誇りに思います。このような機会を設定してくれたProject MAWASUに感謝します。

## 首都ビエンチャン水道公社: Ms. Khonesavanh

Ms. Konesavanhは首都ビエンチャン水道公社の水質担当。通常はチナイモ浄水場にある水質管理ラボに勤めています。これまでに数名の青年海外協力隊員と活動したことや日本への長期研修参加経験もあります。日本のお茶が大好きという水質管理のプロです。

- Q1: 永堀義秀専門家、竹田明弘専門家
- Q2: 水質検査フォームの作成方法、水質検査薬品の保管方法、長期計画作成について学びました。
- Q3: コミュニケーションが難しかったです。特に私の部署にはインターネット回線が設置されていないのでEmailでコミュニケーションができませんでした。
- Q4: 新しいフォームの作成と活動計画の作成と実践です。
- Q5: 最先端水質検査技術やその機材と仕事の質を高める方法を学びたいです。
- Q6: 皆さんとてもよい研修講師でした。計画策定をはじめ効率のよい仕事の仕方を学ぶことができました。ありがとうございました。



## ルアンパバーン県水道公社: Mr. Bounlian

Mr. Bounlianは、ルアンパバーン県水道公社の配給水部門責任者。短期専門家にも気さくに接し、友好的な関係を築いてくれる好人物。担当する業務は、課題も多いが、いつも積極的に取り組んでいる。

- Q1: 山口耕平専門家
- Q2: 私が担当するデータ収集は、原水、送水、給水の各配管や仕切弁、空気弁、排水管や消防栓、無収水に関する漏水や仕切弁、配管修繕や維持、配管洗浄などです。これらのデータのシステマティックなデータ収集や配水管網の無収水管理に関する報告方法を学びました。
- Q3: 第一に言語です。通訳が必要です！ほとんど私はボディラングージでやりとりしていました。第二に我々の水道公社の過去のデータがないことです。
- Q4: 上記のデータ収集のための計画策定です。そしてそのデータのコンピュータ入力 (AutoCAD) です。更には配水管網の更新計画作成と維持管理です。 …(続きは 5ページ)

\*\*\* 皆様のご意見・ご感想をお待ちしております \*\*\*

ラオス水道公社事業管理能力向上プロジェクト事務所

Eメール/電話 : jicapimawasa@gmail.com / (+856-21) 260493 プロジェクトホームページ : <http://www.jica.go.jp/project/laos/012/index.html>

- Q1: 一緒に活動した短期専門家の名前は？  
 Q2: 短期専門家と活動をして一番何を学びましたか？  
 Q3: 短期専門家との活動の中で何が難しかったですか？  
 Q4: 短期専門家帰国後のあなたの活動は何ですか？  
 Q5: 短期専門家と活動する機会が再びあれば、更に何を学びたいですか？  
 Q6: 短期専門家へひとこと

## 首都ビエンチャン水道公社:Ms. Ongsong

Ms. Ongsongは首都ビエンチャン水道公社のICT (Information and Communication Technology) 担当職員。理解が速く、仕事も速い。専門家からのアドバイスを積極的に受け入れ、次回の会合にはアドバイスを取り入れた改善案を持って来る。プロジェクトメンバーの中で一番輝いている職員の一人です。

Q1: 永堀義秀専門家

Q2: 顧客アンケート実施方法、データリストの作成及びデータ管理改善計画作成を学びました。

Q3: 言葉が難しかったのと初めてのタスクが多かったのが困難でした。

Q4: データ管理改善計画を作成したので、その実践です。

Q5: データ管理改善計画の作成方法をもっと詳しく学びたいのとその実践について更に学びたいと思います。

Q6: 可能であれば、短期専門家と活動できる時間がもっと欲しいです。そして短期専門家からはより明確な説明・アドバイスが欲しいです。また、日本で実践している具体例などを示して作業効率を上げるようアドバイスが欲しいです。



ワークショップなどプロジェクト活動に積極的に参加するMs. Ongsong

## 水道規制室 (WASRO) :Mr. Bounthavy

Mr. Bounthavyは水道規制室 (WASRO) の技術部門担当職員。正確かつ迅速な業務はWASRO内でも評価され、プロジェクトで支援する「水道事業ガイドライン」作成の担当に抜擢。Project MA-WASUと一緒に活動できるのが嬉しいというWASRO期待の若手職員。

Q1: 三澤庄吾専門家

Q2: モニタリングと評価についてたくさんのことを学びました。特に、水道事業ガイドラインの作成手順について学びました。

Q3: WASROはまだまだ経験不足の組織です。特に、業務指標 (PI) の理解はこれからです。また、短期専門家との業務時間が短すぎました。

Q4: ラオスの水道事業ガイドラインの定義付けを行うために、日本の水道事業ガイドラインについて学び、ラオスと日本の水道事業の違いを理解したいと思います。

Q5: ラオスと日本の水道事業に係るモニタリングと評価について意見交換、情報交換をしたいです。

Q6: なし。



Mr. Bounthavy (左)、会議参加の様子

\*\*\* 皆様のご意見・ご感想をお待ちしております \*\*\*

ラオス水道公社事業管理能力向上プロジェクト事務所

Eメール/電話 : jicapimawasa@gmail.com / (+856-21) 260493

プロジェクトホームページ : <http://www.jica.go.jp/project/laos/012/index.html>

- Q1: 一緒に活動した短期専門家の名前は？  
 Q2: 短期専門家と活動をして一番何を学びましたか？  
 Q3: 短期専門家との活動の中で何が難しかったですか？  
 Q4: 短期専門家帰国後のあなたの活動は何ですか？  
 Q5: 短期専門家と活動する機会が再びあれば、更に何を学びたいですか？  
 Q6: 短期専門家へひとこと

## 首都ビエンチャン水道公社: Mr. Anouxa

Mr. Anouxaは首都ビエンチャン水道公社の浄水場施設責任者。首都ビエンチャン4カ所、合計1日180,000m<sup>3</sup>規模の浄水場の総括責任者です。優れた頭脳とまじめな取り組みで首都ビエンチャンの各家庭に安全な水を届けます。

- Q1: 竹田明弘 専門家  
 Q2: 浄水場施設に関わるデータ収集計画、データ収集フォーマット、浄水場施設運転実績計算、将来の水需要予測と将来計画のそれぞれの作成方法を学びました。  
 Q3: 私は英語が苦手なのでコミュニケーションが難しかったです。  
 Q4: 既存データの質の向上、浄水場資産管理台帳の作成と業務指標 (PI) の試算です。  
 Q5: 浄水場システムの中で24時間給水を確保するためにいくつくらいの要素があるのか知りたいです。また、浄水場管理部門の責任者としての資質と人格についても興味があります。技術的な質問では、各浄水場は技術・修繕部門を持つべきでしょうか？  
 Q6: 竹田専門家はとてもよいトレーナーで適切なアドバイスをくれました。竹田専門家は、我々が経験したことのないほど維持管理の記録方法に熟達しており、是非とも見習いたいと思います。



## 首都ビエンチャン水道公社: Mr. Siphanh (続き)

PI(業務指標)を計算するにあたり、データ収集の方法を学びました。特に、職場アンケートについてアドバイスをもらいました。

- Q3: 優秀な通訳がいてくれたので特に難しかったことはありません。専門家の皆さんも英語が上手なのでコミュニケーションは問題ありませんでした。  
 Q4: データの精度を上げること、まだ収集できていないデータを収集できるようにします。  
 Q5: 日本での人材育成や人事管理について学びたいです。それをラオスの水道事業の発展に寄与できるように自分なりに知識を深めたいと思います。また、日本方式のプロジェクト管理や日本の文化なども学びたいと思います。  
 Q6: 質の高い業務の仕方やチームワークなどを学ぶことができましたが、時間が短かったのが残念でした。

## カムアン県水道公社: Mr. Khampasith (続き)

ことができました。水圧に関しては、アドバイスを受け、3ヶ月で17ポイントを調査することにしました。漏水については、日中と夜間調査を実施。その他学んだことは、短期計画作成方法、水需要予測、配水管拡張決定方法、年報や事業計画の基本、配水量の計算方法などです。また、永堀専門家からは顧客アンケートの集計方法について学びました。

- Q3: 難しかった点は自身の言葉と分野での経験の少なさです。  
 Q4: データ収集の精度を上げることと中期、長期計画の作成です。また、年報を仕上げることです。  
 Q5: 日本の水道事業のシステムティックな管理と計画策定を学びたいと思います。  
 Q6: 短期専門家の皆さんは知識と経験が豊富なプロフェッショナルで英語能力も高いです。これからももっと多くのことを学びたいと思います。

## ルアンパバーン県水道公社: Mr. Bounlian (続き)

- Q5: 水圧管理や給水区域内の効率的な配水管理について学びたいです。  
 Q6: 山口専門家ととても有意義な時間を共有することができました。山口専門家は気さくでフレンドリーな人です。原因と結果を分かりやすく教えてくれたり、システムティックな計画を作成してくれました。ありがとうございました！



短期専門家とのOJT活動の様子

\*\*\* 皆様のご意見・ご感想をお待ちしております \*\*\*

ラオス水道公社事業管理能力向上プロジェクト事務所

Eメール/電話 : jicapimawasa@gmail.com / (+856-21) 260493

プロジェクトホームページ : <http://www.jica.go.jp/project/laos/012/index.html>